



26.4.25
統合幕僚監部

(お知らせ)

派遣海賊対処行動水上部隊による遭難船舶への対応について

派遣海賊対処行動水上部隊の護衛艦「いなづま」がアデン湾において遭難船舶への対応を行いましたのでお知らせします。

1 時期

平成26年4月23日（水）～4月24日（木）

2 発生場所

アデン湾中部

3 事案の概要

4月23日夕刻（現地時間4月23日午前）、アデン湾においてゾーンディフェンスを実施していた護衛艦「いなづま」が、多数の人員を乗せて漂流しているスキフを発見。「いなづま」に乗艦している隊員が当該スキフの乗船者に対して聞き取りを実施したところ、当該スキフは75名を乗せてソマリアのボサッソー港からイエメンのムッカラ港に向け航行中にエンジンが故障して約5日間漂流していたことを確認し、当該乗船者から救助の要請を受けた。その後、当該隊員は、当該乗船者に対して飲料水及び食料を提供した。

「いなづま」は、当該スキフには多数の人員が乗船していて非常に不安定な状態であったことなどから、当該乗船者の安全等を考慮して、当該乗船者75名を艦内に移送し、CTF151を通じて調整したイエメン海軍への引渡し予定海域まで、当該乗船者の移送及び当該スキフの曳航を実施した。4月24日夕刻（現地時間4月24日午前）、イエメンのムッカラ港の沖合において、「いなづま」は、当該乗船者及び当該スキフをイエメン海軍に引き渡した。

4 その他

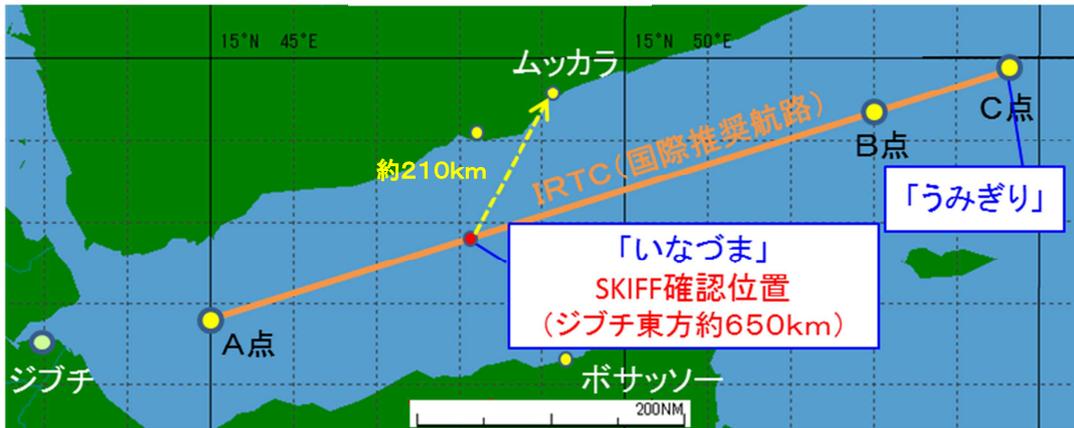
第18次派遣海賊対処行動水上部隊（隊員数約400名）

指揮官：第8護衛隊司令 1等海佐 立川 浩二（たちかわ こうじ）

「いなづま」艦長 2等海佐 可知 俊一郎（かち しゅんいちろう）

「うみぎり」艦長 2等海佐 松田 光央（まつだ みつてる）

事象発生時の位置関係 (イメージ)



↓当該スキフ (発見時の状況)



↓「いなづま」艦内での様子



↓イエメン海軍への引き渡しの状況

